資料５

洪水ハザードマップ作成に関する検討会
（作成の手引き）について

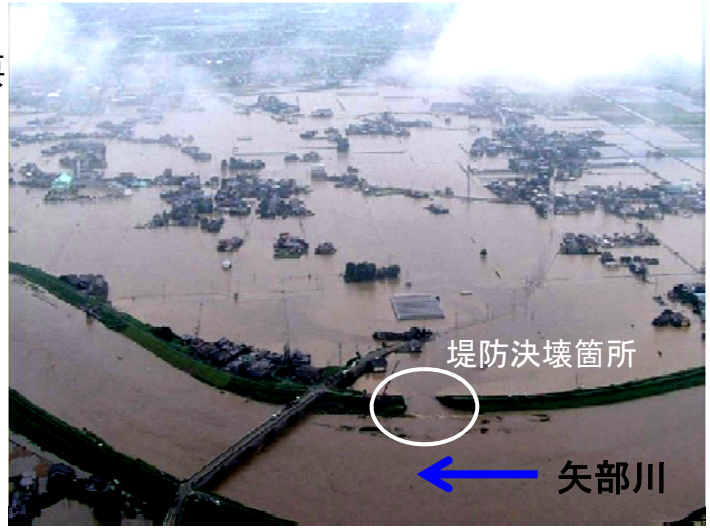
実践的な洪水ハザードマップの作成

国土交通省

平成24年の豪雨により多数の河川が決壊（延べ73万人超に避難指示・勧告）

◇ 避難が遅れると甚大な被害につながりかねない堤防決壊等が多発しており、命を守るためには的確な避難行動が極めて重要

- 矢部川等で堤防決壊
- 熊本市（白川）、柳川市（矢部川）等で自衛隊による救助活動
- 熊本市、柳川市等で延べ73万人超に避難指示・勧告



平成24年7月　矢部川の堤防決壊

住民が洪水時に的確な避難行動をとれるよう、河川管理者が提供する浸水想定に係る情報の点検

1）屋外への避難が遅れると命の危険がある区域を明示
　① 二階家屋が水没するおそれのある区域
　② 洪水氾濫によって家屋倒壊のおそれのある区域
　③ 河岸侵食等によって家屋倒壊のおそれのある区域

2）避難場所や避難経路について水害時に的確な避難行動を選択できるよう、臨場感のある情報を提供
　① 浸水形態（洪水氾濫の拡がり方等）
　② 避難の際に避けるべき方向や場所　等

「洪水ハザードマップ作成に関する検討会」（本年1月～3月、計3回開催）

◇ 住民が的確な避難行動を平時から具体的にイメージできるような“実践的ハザードマップ”へグレードアップするため、学識者及び行政関係者から意見聴取

「洪水ハザードマップ作成の手引き」の改定（平成25年3月）

ヘリコプターによる住民救出（熊本市北区）

「洪水ハザードマップ作成の手引き」の改定

国土交通省

改定のポイント

住民の適切な避難行動につながるよう、洪水ハザードマップに記載する項目を整理

○原則として必ず記載することが必要な「共通項目」（表示・記載方法についても整理）

○地域の状況に応じて記載するかどうかを判断すべき「地域項目」

＜共通項目＞

洪水ハザードマップの地図上に表示する項目

- ○浸水想定区域と浸水深
- ○洪水時家屋倒壊危険ゾーン
- ○避難所等
- ○避難時の危険箇所
- ○土砂災害警戒区域
- ○水位観測所等の位置

洪水ハザードマップ内に記載する項目

- ○浸水ランク等に即した避難行動の心得
- ○洪水予報等、避難情報の伝達方法（プッシュ型の情報）
- ○洪水時に得られる情報と、その受信や取得の方法（プル型の情報）
- ○避難所等の一覧
- ○津波災害警戒区域に関する事項
- ○図面に示された以上の氾濫被害が生じ得ることや避難しなかった場合に起こる事象

＜地域項目＞

避難活用情報

- ○河川の氾濫特性
- ○避難時の心得
- ○避難勧告等に関する事項
- ○地下街等に関する情報

災害学習情報

- ○水害の発生メカニズム、地形と氾濫形態
- ○既往洪水に関する情報
- ○洪水氾濫時に起こること及び避難の際に注意すべきこと
- ○水害に備えた心構え
- ○気象情報に関する事項

「洪水ハザードマップ作成の手引き」の改定

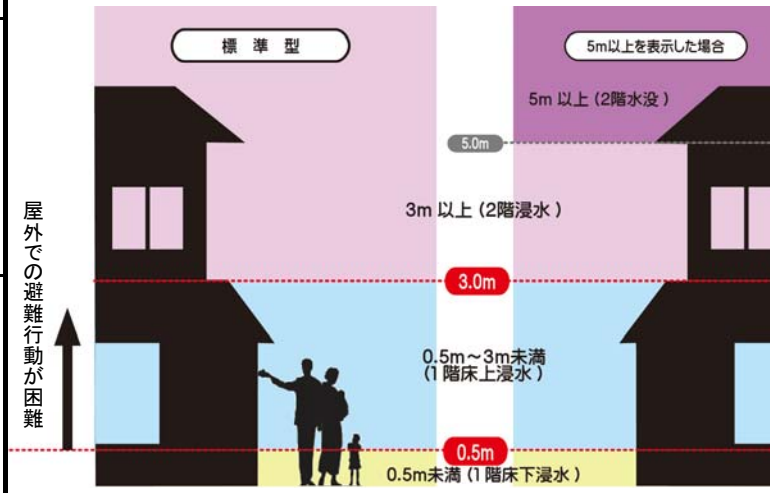
国土交通省

改定のポイント

避難行動の大原則　・・・　避難勧告等が発令されたら速やかに避難

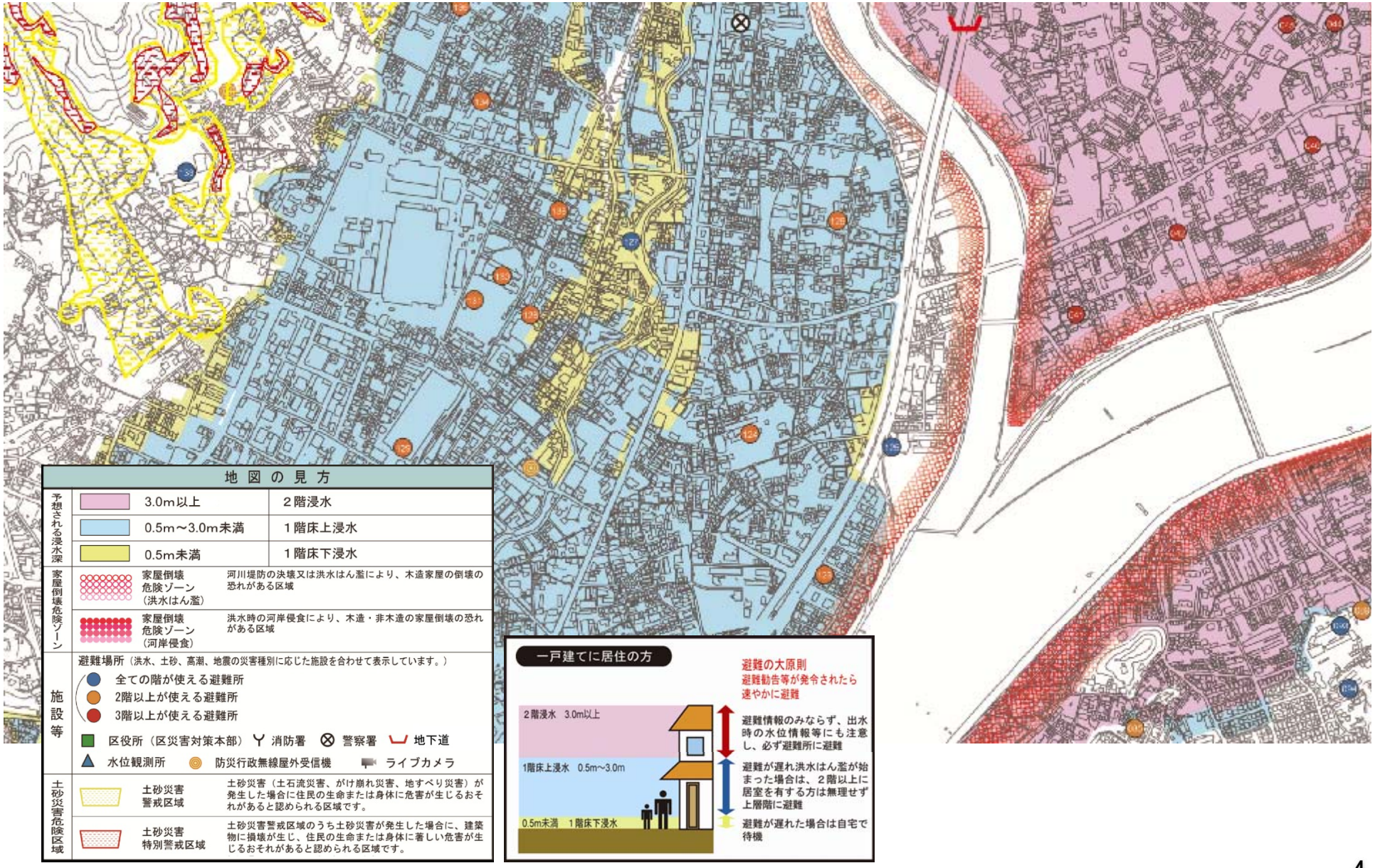
○浸水ランクを簡便化し、浸水ランク等に応じた避難行動・心構えをわかりやすく整理

浸水危険情報	出水時の心構え
洪水時家屋倒壊危険ゾーン	○家屋の倒壊のおそれがあり、避難が遅れると命の危険が非常に高いため、住民は避難情報のみならず、出水時の水位情報にも注意し、事前に必ず避難所等の安全な場所に避難
浸水深3.0m以上の区域	○２階床面が浸水する２階建て住宅では、避難が遅れると危険な状況に陥るため、住民は避難情報のみならず、出水時の水位情報等にも注意し、必ず避難所等の安全な場所に避難 ○高い建物の住民でも、浸水深が深く、水が退くのに時間を要することが想定されるため、事前に避難所等の安全な場所に避難
浸水深0.5m～3.0mの区域	○平屋住宅または集合住宅１階の住民は、１階床上浸水になり、避難が遅れると危険な状況に陥るため、避難情報のみならず、出水時の水位情報等にも注意し、必ず避難所等の安全な場所に避難 ●２階以上に居室を有する住民は、浸水が始まってからの避難は、水深0.5mでも非常に危険なため、避難が遅れた場合は、無理をせず自宅２階等に待避 　ただし、浸水が長時間継続した場合や孤立した場合の問題点について認識しておくことが必要
浸水深0.5m未満の区域	●避難が遅れた場合は自宅上層階で待避 　ただし、浸水が長時間継続した場合や孤立した場合の問題点について認識しておくことが必要



洪水ハザードマップのイメージ

国土交通省



ハザードマップ作成にあわせて実施することが望まれる取り組み

国土交通省

洪水ハザードマップの作成・配布

ホームページへの掲載

ハザードマップの解説及び説明会

定着のための取り組み

出前

講座等

ハザードマップを利活用した取り組み

避難の実効性を高める工夫

防災学習・防災教育

住民の適切な避難行動